

学校法人 名古屋国際学園 Nagoya International School

インターナショナルスクールと大学進学への道

本来インターナショナルスクールのカリキュラムは、アメリカやカナダなど英語圏の大学に進学することを目的としており、実際ほとんどの卒業生は海外の大学に進学します。しかしながら、日本人の保護者の方にとっては、日本の大学に進学出来る可能性があるのかも気になるところでしょう。英語力を活かして国際的に活躍出来る大人になって欲しいと願う一方で、日本人なら日本人らしく、日本の学校生活でしか経験出来ないことを体験し、将来は日本の大学を卒業して欲しいと望まれるのも当然のことです。しかし、せっかく海外生活で身につけた英語力や国際感覚も、インターナショナルスクールだったら伸ばす事が出来るのに、というところで悩まれる保護者の方も多いのではないのでしょうか。そこで今回は、インターナショナルスクールから日本の大学への進学についてご説明します。

● 日本の大学に進学するには？

インターナショナルスクールからも日本の大学に進学することは出来ます。文科省は、WASC（米国西部地域私立学校大学協会）、CIS（インターナショナルスクール会議）、ACSI（キリスト教学校国際協会）などの国際的な教育認定組織の認可を受けた学校で12年の課程を修了するか、国際バカロレア・ディプロマ資格を取得した18歳以上の生徒には、日本の高校を卒業した者と同等以上の学力があるとして大学入学資格を認めています。近年、日本の大学の入学審査は多様化していますが、インターナショナルスクールの卒業生でも、大学入試センター試験や、一般の学部入試を受験する資格があるということです。しかしながら、少なくとも高校卒業までの数年間、英語で、しかも日本の教育システムとは異なるカリキュラムで学習してきた生徒にとって、日本語の筆記試験で日本の高校生と競い合うのは現実的には容易なことでは無いでしょう。

また、インターナショナルスクールは外国の学校と同じだから、帰国生としての受験資格が認められるのではないかとと思われるがちですが、残念ながら今のところほとんどの大学では、インターナショナルスクールの卒業生には帰国生入試の受験資格を認めていません※。国際バカロレア・ディプロマ資格を取得していれば受験資格を認める大学もありますが、この場合、適用されるのは海外で取得したディプロマ資格のみです。

そこで、日本の大学に進学するインターナショナルスクールの卒業生の多くは、一部の大学に設けられている、受験生の国籍や、高校課程をどこの国で修了したかを問わない学部へ進学することになります。ほとんどの大学で「国際教養学部」と呼ばれるこのような学部は、一般の受験生以外にも帰国生や留学生、インターナショナルスクール卒業生などを対象として英語で講義を行うプログラムを実施し、9月入学も可能です。慣れた英語で学習しながら日本の大学を卒業出来るというメリットはありますが、これまでこのようなプログラムは国際教養学部に限られ、残念ながら他の分野を専攻出来る選択肢はありませんでした。

